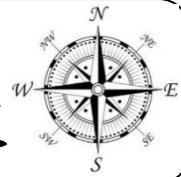


羅 金十盤



太秦中学校
進路指導部
7月 18日
No.32

公立高校の選抜方法について

公立高等学校の前期・中期選抜の報告書の評定と学力検査の取り扱いについて説明します。

前期選抜

○報告書

9教科 全学年の評定 135点

9教科 オール5の場合 45点ですから、かける3倍です。

みんなは、すでに1,2年生の成績は出ているので、そこは計算できると思います。あと、残るは3年生の成績です。

○学力検査

3教科 150点 国語、数学、英語(学校によって違います。)各教科50点
(共通問題の場合や独自問題の場合があります)

○面接、作文、活動実績報告書

ほとんどの学校が、面接か作文、またはそのどちらも。

A2方式やB方式は活動実績報告書があります。北嵯峨高、桃山高はA方式でも活動実績報告書があります。

活動実績報告書は中学時代3年間どのような活動をしていたか。クラブ活動、委員会活動、部活動などの内容を記載します。校外で活動している運動部などの場合は担任の先生にその実績を知らせてください。また資格(英検、漢検、数検)などの内容も記載します。証明書が必要なので、大切に保管しておいてください。



中期選抜

○報告書

9教科 全学年の評定 195点

9教科 オール5の場合 45点ですが、4教科は2倍の持ち点となります。

だから、1学年に65点満点となります。それが3学年なので3倍して195点満点となります。

みんなは、すでに1,2年生の成績は出ているので、そこは計算できると思います。

2年生の時に学習しましたね。あと、残るは3年生の成績です。

○学力検査

5教科 200点

国語、社会、数学、理科、英語 各教科40点で200点満点です。

2つの合計点で、合否が決定されます。5教科は、学力検査でギリギリまで頑張って勉強すれば何とかなるかもしれません、4教科(音楽、美術、技術・家庭、保健体育)については、入試ギリギリに頑張っても、どうしようもありません。この4教科については、テストだけではなく、日々の授業、提出物、実習、作品、実技テストなどが評価項目となるので、今からコツコツとがんばらなければなりません。悔いが残らないように、一つ一つ丁寧に取り組んでいきましょう!